

	1年目 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11	12	1	2	3	2年目 4月～翌3月末
到達水準 (研修プログラムより一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に求められる訪問看護サービスについて知る ・訪問看護の対象(利用者・家族・地域)を知る(看護計画の立案、フィジカルアセスメント) ・看護サービス提供者として基礎的な技術が習得できる。 						<ul style="list-style-type: none"> ・指導者のもと、訪問看護を実施できる(看護計画の立案、フィジカルアセスメント) ・訪問看護の業務内容や役割を説明できる ・利用者や家族とのコミュニケーションづくりができる 						<ul style="list-style-type: none"> ・終末期の訪問 ・状態不安定、難病等の訪問 ・日中の臨時訪問、 ・緊急対応
看護実践取得レベル【必須】	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職者研修 ・マナー研修 ・コミュニケーション 		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護課研修会(毎月第3水) ・事例検討会(毎月第2水) ・技術研修(看護師、PT、業者) ・制度について、連携、リスク、高齢者や障害者の社会資源について、がん非がんの終末期 						<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護の運営と管理 ・難病、認知症、脳血管障害 				
eラーニング等【必須】	看護知識等の習得(ナースィングスキル、今日の臨床サポート課題にそって実施)												eラーニング
病院研修【必須】	新卒看護師教育プログラム病院研修(県立西宮病院)						<ul style="list-style-type: none"> ・県立西宮病院病院実習(地域連携室、救急・ICU室等) ・老健(すこやかケア)デイ実習(排泄、入浴、食事介助) 						<ul style="list-style-type: none"> ・県立西宮病院実習 ・かかりつけ医同伴実習
他施設研修【必須】	新卒看護師病棟研修(県立西宮病院)						<ul style="list-style-type: none"> ・職員交流勉強会(地域包括・福祉用具・デイサービス・居宅介護支援事業所) 						
OJT カンファレンス【必須】	同行訪問 (6月から他ステーション同行訪問も)		単独訪問+同行訪問 (担当利用者1~2名)		単独訪問+同行訪問 (担当利用者3~5名)		単独訪問+同行訪問 (担当利用者6~8名)		単独訪問 (担当利用者10名~)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日振り返り ・三者面談(1回/月) 		6月末 評価シート更新		9月末 評価シート更新		<ul style="list-style-type: none"> ・病院研修ふりかえり(1~2回/週) 			3月末 評価シート更新		所内(1回/月)	

「新卒訪問看護職員」とは、訪問看護ステーションの業務に従事し、その期間が概ね1年以内の、訪問看護ステーションに勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師と定義する。

重要事項

- (1) 訪問看護新卒職員を支える体制として、職場スタッフの理解へのサポートや新卒職員のメンタルサポート等の体制を整備する
- (2) 研修における組織の体制として、教育担当者の役割(主と副:各ステーション)を担う者を明確にする
- (3) 訪問看護新卒職員研修プログラム(兵庫県版を参照)に示された項目に沿って研修目標を設定するとともに、その評価を行う
研修評価については、所定の訪問看護OJTマニュアル評価シートを使用する
- (4) 次の研修を1~2年目に受講する
 - 1) ナースィングスキル、今日の臨床サポート
 - 2) 訪問看護 e-ラーニング研修
 - 3) 病院施設研修(県立西宮病院 病棟、外来、各種サポートチーム、地域連携部署、救命センター、NICU等々)
 - 4) 地域研修(診療所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、病院外来・退院支援部門、老人保健施設等)
 - 5) 技術研修(訪問看護師に必要な技術トレーニングは、自施設だけでなく、他の事業者団体等が実施する訪問看護師向け研修を受講)